



# 令和4年度予算概算決定及び 令和3年度補正予算の概要

## 林野関係予算の概要

令和3年12月

区分	3年度 予算額	4年度 概算決定額		A + B
		A	B	
公共事業費 (対前年度比)	1,969 億円	1,972 (100.2%) 億円	1,019 億円	2,991 (151.9%) 億円
一般公共事業費 (対前年度比)	1,866	1,869 (100.1%)	767	2,636 (141.2%)
治山事業費 (対前年度比)	619	620 (100.1%)	306	926 (149.5%)
森林整備事業費 (対前年度比)	1,247	1,248 (100.1%)	461	1,709 (137.1%)
災害復旧等事業費 (対前年度比)	103	103 (100.6%)	252	356 (346.0%)
非公共事業費 (対前年度比)	1,064	1,013 (95.2%)	223	1,236 (116.1%)
合計 (対前年度比)	3,033	2,095 (98.4%)	1,242	4,227 (139.4%)

(注) 1 上記のほか、農山漁村地域整備交付金及び農山漁村振興交付金に、林野関係事業を措置している。  
 2 金額は、関係ベース。デジタル庁計上の政府情報システム予算を含む。  
 3 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

12月24日に令和4年度当初予算が閣議決定されるとともに、20日には令和3年度補正予算が成立しました。令和4年度予算は、令和3年度補正予算と合わせ、総額4,227億円を計上しています。特に林野公関係予算(治山事業・森林整備事業)は、令和4年度予算1,869億円、令和3年度補正予算767億円のほか、(当初・補正から)路網の整備・機能強化対策(非公共)64億円を措置し、総額2,700億円を計上しています。

主要事業ごとのポイントは次のとおりです。

### 森林整備事業

[4当初:1,248億円、3補正:461億円]

カーボンニュートラルを見据えたグリーン成長を実現するため、森林吸収量の確保・強化や国土強靱化、林業の持続的発展等を図るべく、間伐の着実な実施に加え、主伐後の再造林の省力化・低コスト化や、幹線となる林道の開設・改良等を推進します。

### 治山事業

[4当初:620億円、3補正:306億円]

豪雨や豪雪、地震等激甚かつ同時多発化する災害に対応し、国土強靱化を図るため、流域治水と連携した治山対策の強化や、十分な工期確保、施設の機能強化など地域の実情に応じた対策の強化、津波に強い海岸防災林の全国的な整備を推進します。

### 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策等

[4当初:117億円、3補正:495億円の内数]

カーボンニュートラルを見据えた森林・林業・木材産業によるグリーン成長を実現するため、川上から川下までの取組を総合的に支援します。

#### 〈新しい林業に向けた林業経営育成対策〉

伐採から再造林・保育に至る収支をプラス転換する「新しい林業」を実現するため、新たな技術の導入による「新しい林業」経営モデルの構築、森林プランナー育成による経営力向上、研修等を通じた労働安全強化対策等の取組を総合的に支援します。

#### 〈林業・木材産業成長産業化促進対策〉

長期にわたる持続的な林業経営を確立するため、搬出間伐や主伐と再造林を一貫して行う施業、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、再造林の推進に資するコンテナ苗生産基盤施設の整備、出荷ロットの大規模化のための共同販売体制の構築、輸入木材の不足への対応も視野に入れた木材加工流通施設、特用林産振興施設や本造公共建築物の整備等を総合的に支援します。

#### 〈林業イノベーション推進総合対策〉

ICTによる資源管理・生産管理を行うスマート林業、早生樹・エリートツリー等の苗木の生産拡大に向けた採種圃の整備、造林作業の自動化機械や木質系新素材の開発、スマート林業に関する教育等による「林業イノベーション」の取組を支援します。

#### 〈建築用木材供給・利用強化対策〉

木材利用促進法の改正を踏まえ、都市部における木材利用の強化等のため、建築用木材の利用の実証、大径材活用に向けた技術開発、製材やCLT(直交集成板)等の建築物への利用環境整備等を支援するとともに、引き続き注視が必要な木材需給動向に対応するための需給情報の共有、地域ごとの生産・流通の課題解決の取組等を支援し、建築用木材の供給体制を強化します。

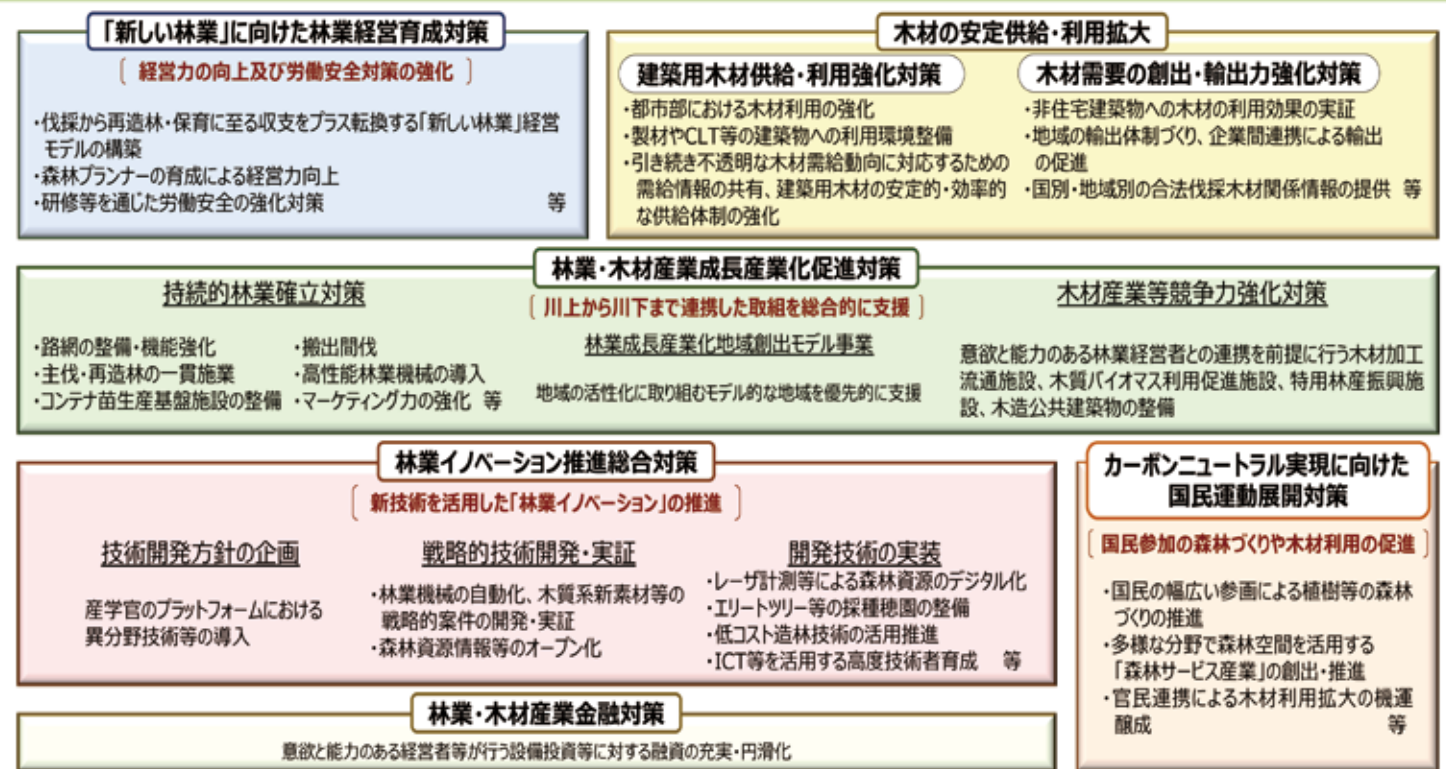
# 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策

【令和4年度予算概算決定額 11,563(12,239) 百万円】  
 【令和4年度予算概算決定額(デジタル庁計上) 93(74) 百万円】  
 (令和3年度補正予算額 49,482百万円の内数、デジタル庁計上 22百万円)

＜対策のポイント＞ カーボンニュートラルを見据えた森林・林業・木材産業によるグリーン成長を実現するため、「新しい林業」経営モデルの構築、路網の整備、間伐や再造林、木材加工流通施設の整備、「林業イノベーション」の推進、都市部における木材利用の強化、輸出を含む新たな需要の創出、国民運動の展開等、川上から川下までの取組を総合的に支援します。

＜政策目標＞ 国産材の供給・利用量の増加(31百万m<sup>3</sup> [令和2年度] → 42百万m<sup>3</sup> [令和12年度まで])

## ＜事業の全体像＞



### ＜木材需要の創出・輸出強化対策＞

非住宅建築物の木質化の効果の検証・発信、木質バイオマスのエネルギー利用のための地域の体制づくり、木材製品の輸出の推進等による木材利用の拡大を支援するとともに、国別・地域別の合法伐採木材関係情報の提供等を実施します。

### ＜カーボンニュートラル実現に向けた国民運動展開対策＞

カーボンニュートラル実現に向け、植樹等の森林づくりや木材利用を国民運動として進めていくため、企業やボランティア団体等とのマッチング、森林空間利用の促進、建築物等での木材利用拡大の機運醸成に係る取組等を展開します。

### 木材産業国際競争力・製品供給力強化緊急対策

【3補正:495億円】

合板・製材・構造用集成材等の国際競争力を強化するため、加工施設の大規模化・高効率化や輸出向け等の高付加価値品目への転換、路網整備や高性能林業機械の導入、搬出間伐、再造林・エリートツリー等の苗木の生産施設整備、木材製品等の輸出促進、非住宅分野の木造化等の推進による木材製品の消費拡大等を支援します。

また、今般の木材不足・価格高騰(いわゆるウッドショック)への対応として製品の供給力増大のための乾燥施設の能力向上等や、国産の製品等への転換促進等を支援します。

### 「緑の人づくり」総合支援対策

【4当初:48億円、3補正:3億円】

林業への新規就業者の育成・定着に向けた研修、就業前の青年に対する給付金の支給、高校生や社会人を対象としたインターシップ、現場管理責任者等の育成や技能検定制度の創設、森林経営管理制度を担う技術者の育成等を支援します。

### 森林・山村多面的機能発揮対策

【4当初:14億円】

森林・山村の多面的機能の発揮や山村地域の活性化を図るため、地域の活動組織が実施する森林の保全管理、森林資源の利用、関係人口の拡大を図る取組等を支援します。

### シカ等による森林被害緊急対策事業

【4当初:1億円】

シカ被害を効果的に抑制するため、広域的な捕獲への支援、林業関係者による捕獲効率向上対策の横展開、ICT等を活用した新技術等の開発・実証、国有林野における国土保全のための捕獲事業の実施とともに、ノウサギ被害対策の実証を実施します。